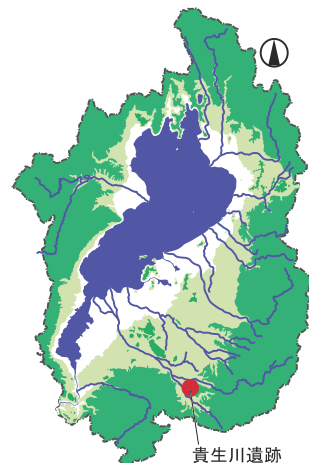


## 【調査速報】

きぶかわ  
甲賀市水口町貴生川遺跡

# 戦国時代の 城館跡を発見！



▲調査地遠景（北東より） 遠方に杣川と飯道山が見えます。

甲賀市に所在します貴生川遺跡から16世紀の城館跡が発見されました。発掘調査は、土地区画整理事業に先立ち、甲賀市教育委員会の依頼で当協会が平成25年からおこなっています。昨年度の調査では、古墳時代中期の竪穴住居、平安時代末から鎌倉時代にかけての土壇墓、掘立柱建物がみついています。

今年度みつかった城館跡は、おおよそ半町（約50m）四方の「単郭方形」とよばれる単独で立地する、平面形が方形の堀と土塁で囲まれた戦国時代の城館跡です。

土塁の内側の曲輪からは、石組みの井戸や区画溝（一部排水溝を兼ねる）、結桶を設置した土坑がみついています。残念ながら明確な建物はみつかりませんでした。堀は南側で途切れ、城館の入口は南西側に開いていたと考えられます。



滋賀県立安土城考古博物館内の調査整理課では、整理調査の成果や作業状況を公開する催しを年2回実施しています。今年度も平成26年8月3日(日)に「あの遺跡は今！ Part19 - 古代の知恵と技 - 」を開催しました。夏休み期間中ということもあり、ご家族で参加いただいた方も多く、延べ466名もの方々にご来場いただきました。展示遺物について熱心に質問をされている方や、整理作業体験・「鏡」作り体験では一生懸命に取り組んで笑顔をみせる子どもたちの姿があり、大盛況となりました。次回は平成27年2月15日(日)に、「Part20」を開催予定です。多くの方々のご来場をお待ちしています。



### 【収蔵品紹介】

## 滋賀県指定文化財 「近江輿地志略」 寒川辰清著

滋賀県立琵琶湖文化館蔵



滋賀県指定文化財の館蔵品に「近江輿地志略」があります。名称には「近江の大地について記した書物」という意味があります。ある特定の地域について自然や歴史などについてまとめた書物は「地誌」と呼ばれ、江戸中期に各地で盛んに編まれました。

「近江輿地志略」は膳所藩士・寒川辰清(1697～1739)が享保19(1733)年に完成させたものです。滋賀の地域史を研究するための基礎資料として知られています。

実は、寒川辰清は膳所藩第5代藩主本多康命が命じた編纂の仕事を寡聞(見聞が浅くて狭いこと)と病気を理由に、一度断っています。その後、あらためて第6代藩主康敏から地誌編纂が命じられたのです。辰清は、病気がちの体とつきあいながら昼夜を問わず原稿を書き続け、101巻100冊の大部の地誌をまとめました。

琵琶湖文化館には100冊のうち94冊(6冊は大津市内の寺院所蔵)のほか、近江国全体や大津、八幡、彦根などの絵図、そして辰清の自序、跋文などがあります。もとは膳所藩の藩庫にあったことが明らかな資料です。





▲石組み井戸 約2mの掘方を持ち、石組みの内径が0.8mを測ります。中から五輪塔の笠の部分（火輪）が見つかりました。



▲漆器出土状況 堀の中からみつけられました。外面には黒地に赤漆で鶴の文様が描かれています。



▲堀の断面 堀の幅は最大6m、深さが2.8m、残存する土塁の基底は6.6～8mを測ります。堀の幅・深さを勘案すると土塁は3m程度の高さに復元できます。



▲城館跡全景（直上より） 堀の外側で一辺約50m、曲輪の大きさは一辺約26mでおおよそ200坪に相当する広さです。

遺物は、曲輪の最終堆積層、土坑、井戸、堀などから信楽焼を中心とした日用雑器が出土しています。また、曲輪内の土坑や堀からは、漆器や下駄などの木製品も出土しています。これらの遺物は16世紀後半を中心とした時期に限定できることから、短期間に機能していた城館であったと考えられます。このことは、この城館の築造・廃絶が、織田信長による近江侵攻（1568年）から紀伊太田城攻めの責任を問われ羽柴秀吉によって甲賀衆が改易されたいわゆる「甲賀ゆれ」、水口岡山城の築城（1585年）を契機とした可能性が高く、甲賀地域の動向を映し出していると思われる。

今回の調査成果は、新たな城館が良好な状態でみつけられ、かつ面的に調査することができたことです。180をこえる城館が確認されている甲賀市域においても、発掘調査が実施され、正確な城館の存続年代・規模等が明らかになっている城館はほとんどありません。さらに、遺存状態が良いため、土塁・堀の規模を視覚的に理解することができ、当時の地域内の緊張した時代の雰囲気を感じることができる貴重な事例となりました。

# レトロ・レトロの体験フェスタ 2014 with レトロ・レトロの展覧会 を開催しました!



▲火起こし選手権（小学生の部）



▲火起こし選手権（親子の部、お母さんも必死です）



▲火起こし選手権（TV局も取材にいられていました）

◆滋賀県埋蔵文化財センターにおいて、夏休み恒例の企画「レトロ・レトロの体験フェスタ2014」を今年も開催しました。おかげさまで、多数の方々にご来場いただきました。この企画では、平成25年度に県内各地で実施した発掘調査の成果をいち早く皆様にお伝えするための速報展と、それにあわせて火起こし・プラバンアクセサリー製作・古代の衣装着用体験・パズル等の各種体験コーナーをご用意いたしました。

◆速報展示では、新聞やテレビで報道された高島市上御殿遺跡・守山市吉身西遺跡・甲賀市貴生川遺跡等の出土遺物を展示し、多くの方が展示資料に見入っておられました。

◆また、期間中に実施した「第5回火起こし選手権」は、小学生高学年の部と親子の部にわかれて、古代の方法で火を起こす時間を競う競技で、今年も多数を参加をえました。とくに本大会では、親子部門で大会新記録（33秒30）がでました。



▲熱心に展示を見る子供たち